

館山市立博物館年報

令和4年度版

はじめに

平素よりご来館ご観覧頂きまして、ありがとうございます。

令和4年度を顧みますと二つの事柄が際立って見えます。

一つめは、日本全体が“日常生活”の回復に向けて歩みを進めている中、当博物館も地域資料の継続的な収集、地域に根ざした調査研究及びその成果の活用、市民と観光客双方に向けた情報発信に努めたことにより、入館者数が6万人を超える（6年ぶり）という大きな伸びを示したことです。

二つめは、近年にはない規模で他団体との連携を図ることができた1年であったということです。市民ボランティアや指定管理者を初め、県内の大学や高校などと多種多様な連携を図りました。

また、連携事業の他にも、南総里見八犬伝の資料を中心としてテレビ局や出版社等からの資料利用申込が多かったことが思い返されます。

令和4年度版年報に掲載したあらゆる事業の成果は、各職員が担当事務に堅実に取り組んだ結果であると同時に、市民を初めとする多くの皆様方の支えがあったからこそと心より感謝いたしております。

これからも「郷土博物館としての役割」を果たせるよう、来館者の皆様の安全・安心の確保に努めながら、資料収集・調査研究・各種普及事業の実施に取り組んでまいります。

令和5年は、館山市立博物館が昭和58年に開館して40年を迎える節目の年となります。

これまでと同様、皆様方からのご支援を頂戴できれば幸いに存じます。

令和5年9月30日

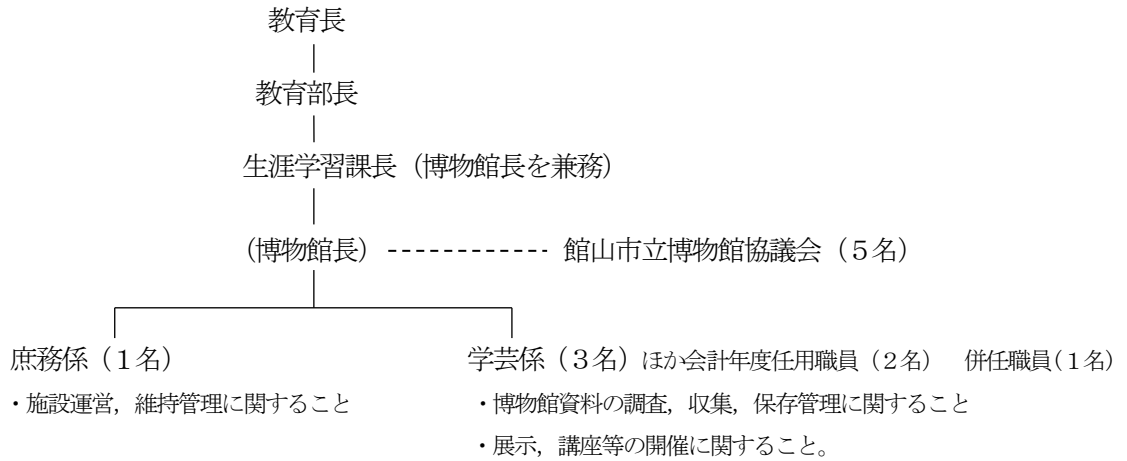
館山市立博物館長 三浦 太郎

目 次

I 組織と運営	1
(1 組織図 / 2 施設 / 3 館山市立博物館協議会)	
II 利用状況	2
(1 入館者数 / 2 学校等の利用 / 3 資料の利用 / 4 入館者アンケート)	
III 展示活動	9
(1 常設展 / 2 企画展 / 3 その他)	
IV 教育・普及活動	12
(1 印刷物の発行 / 2 講座・教室 / 3 動画の公開 / 4 博物館実習)	
V 調査・研究活動	15
(1 学芸員の活動)	
VI 資料の収集・保存	18
(1 新規収蔵資料)	
VII 施設運営・維持管理	20
(1 指定管理者との協働 / 2 館内における新型コロナウイルス感染症防止対策 / 3 主な施設改修)	
VIII 例規	22

I 組織と運営

1 組織図



2 施設

名 称		所在地	沿 革
館山市立博物館	本館	館山市館山 351 番地の 2	昭和 58 年 (1983) 開館
	館山城 (八犬伝博物館)	館山市館山 351 番地の 2	昭和 57 年 (1982) 開館
館山市立博物館分館	“渚の駅” たてやま内 渚の博物館	館山市館山 1564 番地の 1	千葉県から旧安房博物館を移譲 平成 23 年 (2011) 開館

3 館山市立博物館協議会

(1) 委員

区 分	氏 名	役職名等
学識経験者	梶山 林繼	國學院大學名誉教授
学識経験者	清本 正人	お茶の水女子大学教授
学校教育関係者	神作 正孝	館山市立館山小学校長
社会教育関係者	石井 則子	館山市社会教育委員
家庭教育の向上に資する活動を行う者	須田 啓子	元家庭教育指導員

(2) 会議

◆開催日 令和 5 年 2 月 8 日 (水)

- ◆議題
- 令和 4 年度 館山市立博物館事業実施状況について
 - 令和 5 年度 館山市立博物館事業計画について
 - 館山城 (八犬伝博物館) 運営状況 (指定管理業務) について
 - 渚の博物館事業 (観光みなど課) について

Ⅱ 利用状況

1 入館者数

(1) 本館・館山城入館者数

◆令和4年度月別

(人)

月	合計	市内			市外			謎解き ゲーム	開館日数
		大人	小人	合計	大人	小人	合計		
4月	6,955	189	59	248	5,308	1,093	6,401	306	26
5月	7,275	199	58	257	5,489	1,265	6,754	264	27
6月	3,516	285	46	331	2,520	575	3,095	90	26
7月	3,190	110	16	126	2,315	602	2,917	147	27
8月	5,311	127	40	167	3,387	1,422	4,809	335	26
9月	3,658	120	54	174	2,993	468	3,461	23	26
10月	5,020	339	276	615	3,612	793	4,405	-	26
11月	4,411	342	41	383	3,267	761	4,028	-	26
12月	3,795	271	257	528	2,777	490	3,267	-	27
1月	4,762	170	87	257	3,699	806	4,505	-	27
2月	5,070	293	58	351	4,135	584	4,719	-	24
3月	8,127	403	143	546	6,309	1,272	7,581	-	27
合計	61,090	2,848	1,135	3,983	45,811	10,131	55,942	1,165	315

※別途、本館・館山城共通券の半券入館者あり。

※謎解きゲームは9月まで実施。

◆年度別推移

(人)

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
63,565	65,809	59,286	50,338	37,704	48,036	50,371	61,090

参考：分館（渚の博物館）入館者数・年度別推移

(人)

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
136,194	171,300	167,229	204,399	184,010	119,288	189,844	244,425

(2) 展示別入館者数

名 称	期 間	入館者数 (人)
新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」	R4. 4. 16～ 6. 5	11,683
収蔵資料展「里見家断絶とその後の安房の人々」	R4. 6. 19～ 9. 19	12,064
新・地区展「館山一城と湊のまちー」	R4. 10. 29～12. 25	9,250
企画展「 供養する人々」	R5. 2. 4～ 3. 21	9,523

2 学校等の利用

(1) 本館見学 (学芸員の説明対応)

- R4. 12. 9 館山市立北条小学校 106 名 ※自由見学
 12. 20 館山市立豊房小学校 8 名 (「昔の暮らし」)
 R5. 1. 26 館山市立船形小学校 12 名 (「昔の暮らし」)
 3. 8 南房総市立三芳小学校 36 名 (「昔の暮らし」)
 3. 9 南房総市立白浜小学校 30 名 (「昔の暮らし」)
 3. 17 館山市立館山小学校 55 名 (「昔の暮らし」)

3 資料の利用

(1) 放映・掲載など

申請日	資料名	掲載・放映媒体
R4. 4. 13	勝山調画「押送舟図」・「ながしつりつり ため生写の図」	テレビ朝日「ウラ撮れちゃいました」
4. 18	那古祭礼山車写真	那古祭礼ポスター
4. 21	「館山海軍航空隊写真帖 附房州名勝」	また旅倶楽部 観光ガイド用資料
4. 21	「東八ヶ国絵図」 他	千葉県立中央博物館秋展示「おはまおりー海へ向かう 神々の祭ー」写真パネル・展示解説小冊子・広報印刷物・ 報告書等
4. 22	瓦版「海陸御固付」	『幕末暗殺史 桜田門外の変』(株式会社ホビージャパ ン)
4. 26	版本『南総里見八犬伝』 他	朝日学生新聞「異界譚里見八犬伝」(朝日学生新聞社)
5. 1	万祝(捕鯨) 他	千葉県立中央博物館特別展「鯨」展示パネル・図録
5. 6	里見実堯公木像(延命寺所蔵)	『図説 戦国里見氏』(戎光祥出版株式会社)
5. 10	イサキのハイカラ釣り(石橋宗吉資料) 他	勝浦市郷土資料室「かつうらの漁業展」展示
5. 20	元文小判	NHK「ロコだけが知っている」
6. 2	曲亭馬琴肖像(「戯作六家撰」所収) 他	『千葉の教科書』(株式会社JTBパブリッシング)
6. 7	銅造千手観音立像(那古寺所蔵)	「僧侶が教える仏像鑑賞の伊呂波」『生きる力 SHINGON』 Vol. 110(真言宗智山派)
6. 15	川名写真館写真「館山祭礼の楠見山 車」 他	個展「関東の山車祭り展」写真パネル

申請日	資料名	掲載・放映媒体
6. 16	万祝（鱈大謀） 他	『新鮮！ちばのさかな！水産物直売所マップ』（千葉県農林水産部水産局水産課）
6. 17	版画「里見左馬頭義弘相州城ヶ島にて北条と戦ふ」・「芳流閣両勇動」	『南房総の風』（千葉県教育庁南房総教育事務所）
6. 18	天正3年（1575）「里見義継印判状」	神奈川県立金沢文庫「山口家文書寄贈記念展示」パネル
6. 26	国分寺薬師堂写真、安房国分寺金堂基壇跡写真	鈴鹿市考古博物館秋季特別展「国分寺」写真パネル・図録等
7. 6	里見吉政戦功覚書（六曲屏風）	行田市郷土博物館第35回企画展「天正十八年～関東の戦国から近世～」図録・広報番組等
7. 20	版本『南総里見八犬伝』 他	戎光祥ヒストリカルセミナーVol. 33「房総里見氏の魅力」レジュメ・スライド
7. 26	版画「大塚の場」春梅齋北英画 他	館山城企画展「南総里見八犬伝浮世絵展～浮世絵でめぐる名場面～」広報
7. 31	版画「不二三十六景 安房鋸山」初代歌川広重 他	京都芸術大学通信教育課程芸術教養学科 WEB 卒業研究展
8. 1	版本『南総里見八犬伝』・館山城展示風景	「WELLSOL」（リソルの森株式会社運営ウェブサイト）
8. 10	「小笠原嶋ヨリ武蔵内海伊豆相模房上総海辺絵図」 他	袖ヶ浦市郷土博物館開館40周年記念企画展「富士山―畏れ・敬い・憧れ―」図録等
8. 16	文久2年（1862）「八幡村略絵図」（根岸家文書）	館山市教育委員会主催「ふるさと講座」資料
8. 20	稲村城跡写真・興禅寺青岳尼供養塔写真	千葉市立郷土博物館特別展「我、関東の将軍にならん」写真パネル・図録・SNS
8. 23	川名写真館旧蔵ガラス乾板	千葉テレビ「NEWS チバ特集」
8. 28	版画「芳流閣の決闘」歌川国芳画 他	館山城・城山公園ホームページ（指定管理者・株式会社塚原緑地研究所運営）
8. 31	本館民俗展示室展示風景	「Visit Chiba」（外国語観光情報ウェブサイト）
9. 5	版本『南総里見八犬伝』	『小学館版学習まんが日本の歴史』第11巻（株式会社小学館）
9. 6	版画「八犬伝の内 芳流閣」歌川芳虎画	演劇集団円 公演『ソハ、福ノ倚ルトコロ』パンフレット
9. 7	天正3年（1575）極月付「里見義継印判状」	『金沢文庫研究』第349号（神奈川県立金沢文庫）
9. 7	版画「八犬伝犬の草紙の内 足利成氏」	『歴史人』2022. 11月号（株式会社ABCアーク）
9. 7	版画「里見八犬伝 石浜対牛楼」三代歌川豊国画	『トクする！？国語便覧』（株式会社文理）
9. 12	那古病院図	『三橋鷹女の一〇〇句を詠む（俳句と生涯）』（株式会社飯塚書店）
9. 13	元文小判・海老原家文書	BS - TBS「満喫！セカンドライフ」

申請日	資料名	掲載・放映媒体
9. 14	写真「昭和47年7月さざなみ開通」他 (秘書広報課所蔵)	sPARK (館山駅東口駅前房州第一ビル1階) 展示
10. 3	川名写真館旧蔵風景アルバム 他	鋸南町歴史民俗資料館特別展「鬨日荘100年～保田を愛した歌人や画家たち～」図録
10. 13	版画「里見八犬伝の内葛飾合戦」 月岡芳年画 他	館山城2023カレンダー(館山城40周年記念品)(指定管理者・株式会社塚原緑地研究所)
10. 17	正木時茂書状(上野文書)	『戦国武将列伝 関東編 上』(戎光祥出版株式会社)
11. 1	版画「里見八犬伝の内葛飾合戦」 月岡芳年画 他	館山城企画展「目で楽しむ 南総里見八犬伝展」
11. 2	版画「里見左馬頭義弘相州城ヶ島にて 北条と戦ふ」	『戦国武将列伝 関東編 下』(戎光祥出版株式会社)
11. 2	写真「昭和34年8月夏のカーニバル」他 (秘書広報課所蔵)	PEN_ONLINE(雑誌『Pen』公式サイト)記事
11. 29	里見義頼朱印状 他	『時空旅人(南総里見八犬伝と房総里見氏特集)』(株式会社三栄)
11. 30	「関東震災全地域鳥瞰図絵」	「鳥瞰図に見る江戸・東京の表象」『EToS 叢書4 新・江戸東京研究の世界』(法政大学出版局)
12. 4	絵はがき「安房名勝 鏡が浦海岸鯨漁」・ 「(安房白浜)白浜沖ニテ捕獲セシ巨鯨」	日本テレビ「ヒルナンデス！」
12. 7	万祝(醍醐組・大謀網)	千葉県立現代産業科学館「令和4年度エントランス正月飾り萬祝式大漁旗展示写真パネル」
12. 23	里見内蔵丞吉政由緒書	千葉県立茂原高校授業用プリント
R5. 1. 13	版画「見立八犬伝之内」(全8点) 豊原国周画	館山城企画展「目で楽しむ 南総里見八犬伝」室内装飾
1. 29	本館民俗展示室・岩崎巴人展展示風景	しんぶん赤旗
1. 30	版画「芳流閣両勇動」	館山市観光ガイドブック中国語版
2. 5	曲亭馬琴肖像(「戯作六家撰」所収) 他	南房総市立富山小学校授業
2. 8	版画「犬の草紙の内」・「大日本六十余洲 余州の内安房 里見の姫君伏姫」	館山城自主事業「南総里見八犬伝総選挙」館内展示用ポスター
2. 11	石槍(三芳村出土、加藤氏所蔵)	千葉市埋蔵文化財調査センター特別展「遺物から見える地域文化の発達―縄文時代前期後葉～末葉」広報
2. 14	版本『南総里見八犬伝』9輯巻37 他	館山城展示用パネル製作
2. 20	安房震災写真帖 他	TBSテレビ報道特別番組 東日本大震災12年「Nスタつなぐ、つながるSP “いのち”」
2. 20	「房州鏡浦略図」 他	『翻刻 房州避暑案内』(北条文庫)
2. 24	永禄3年(1560)5月29日付北条家 朱印状(鳥海文書)	『増補版 戦国大名一政策・統治・戦争』(株式会社平凡社)
2. 26	坂井翁作古墳出土 圭頭大刀	「圭頭大刀の生産と流通」(『考古学雑誌』第105巻第2

申請日	資料名	掲載・放映媒体
		号)
2. 27	錦絵「八犬伝犬の草紙の内 足利成氏」	『歴史人』2023年別冊「関東戦国史のすべて」(株式会社ABC アーク)
3. 2	正木憲時像(複製)	『歴史研究』第709号(戎光祥出版株式会社)

(2)調査

調査日	資料名	調査機関(目的)
R5. 3. 10	万祝(宝船) 他	展示に関する資料調査(千葉県立中央博物館)
3. 10	畑村越地原用水路開鑿者肖像画	資料調査(千葉県立中央博物館)
3. 15	里見吉政戦功覚書(六曲屏風)	史跡九戸城跡調査報告書に係る関係資料調査(二戸市教育委員会事務局教育部文化財課)

上記(1)(2)の他、個人利用が36件あった。

(3)貸出

貸出期間	資料名	貸与先(利用目的)
R4. 4. 15～6. 30	富士登山記念盃 他	八千代市立郷土博物館(企画展「富士をのぞむ～八千代に残る富士山信仰～」)
R4. 7. 1～9. 26	アガシモリ 他	千葉県立中央博物館(特別展「鯨」)
R4. 9. 1～R5. 2. 28	小網寺鋳銅密教法具	文化庁文化財第1課(指定調査)
R4. 9. 8～12. 23	押送船模型 他	袖ヶ浦市郷土博物館(開館40周年記念企画展「富士山—畏れ・敬い・憧れ」)
R4. 9. 21～R5. 1. 25	藤原神社神楽面(藤原区所蔵) 他	千葉県立中央博物館(秋展示「おはまおり—海に向かう神々の祭—」)
R4. 10. 4～11. 25	里見吉政戦功覚書(六曲屏風)	行田市郷土博物館(企画展「天正十八年～関東の戦国から近世～」)
R4. 10. 20～R5. 1. 13	万祝(地引網漁) 他	いすみ市郷土資料館(企画展「大漁絵馬と万祝」)
R4. 11. 10～R5. 2. 9	川名写真館旧蔵風景アルバム 他	鋸南町歴史民俗資料館(特別展「鬨日荘100年～保田を愛した歌人や画家たち～」)
R5. 2. 24～3. 28	石槍(三芳村出土、加藤氏所蔵)	千葉市埋蔵文化財調査センター(特別展「遺物から見える地域文化の発達—縄文時代前期後葉～末葉—」)

4 入館者アンケート

方 法 博物館本館入館者を対象に実施。無記名方式。

期 間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

回答数 473件 ※令和4年8月に選択肢を一部変更したため、総数と一致しない項目がある。

(1)性別

男性	女性	その他	無回答
201	221	2	49
42.5%	46.7%	0.4%	10.4%

(2)年齢

20才未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80才以上	無回答
345	35	30	40	39	40	49	16	4
57.7%	5.9%	5.0%	6.7%	6.5%	6.7%	8.2%	2.7%	0.7%

(3)職業

小学生	中学生	高校生	大学生	その他 学生	会社員	公務員	自営業	農業 漁業	主婦 主夫
131	55	9	13	5	76	22	20	4	27
27.7%	11.6%	1.9%	2.7%	1.1%	16.1%	4.7%	4.2%	0.8%	5.7%
無職	その他	無回答							
49	29	33							
10.4%	6.1%	7.0%							

(4)住まい

館山市内	市外(安房)	千葉県内	千葉県外	無回答
83	40	186	150	15
17.5%	8.4%	39.2%	31.6%	3.2%

(5)同行者

1人で	家族・親戚	友人	学校	その他団体	その他	無回答
75	165	27	26	38	3	2
22.3%	49.1%	8.0%	7.7%	11.3%	0.9%	0.6%

(6)見学回数

初めて	2回目	3回目	4回目以上	無回答
322	18	29	103	1
68.1%	3.8%	6.1%	21.8%	0.2%

(7)来館目的 ※複数回答可

常設展	企画展	講座 解説会	学習 宿題	調査 研究	館山城	公園	観光	その他	無回答
63	82	4	25	5	123	38	69	12	5

(8) 情報入手方法 ※複数回答可

ポスター チラシ	新聞	ガイド ブック	公園内	観光宿泊 施設	市HP	市SNS	その他	無回答
59	48	22	126	24	50	23	123	18

(9) 観覧料について

適当	安い	高い	その他	無回答
265	111	48	29	20
56.0%	23.5%	10.1%	6.1%	4.2%

(10) 感想

非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	無回答
224	181	47	6	2	13
47.4%	38.3%	9.9%	1.3%	0.4%	2.7%

Ⅲ 展示活動

1 常設展

本館では、歴史展示室と民俗展示室で常設展示を行ったほか、企画展示室では企画展で使用する時期を除き、テーマ展示として「岩崎巴人 水墨画の世界」、「安房の仏教文化」を開催しました。民俗展示室では、季節展示を行いました。

館山城（八犬伝博物館）では、1階展示室において、『南総里見八犬伝』を紹介する常設展示を行いました。

渚の博物館では、常設展示室で常設展示を行い、企画展示室でテーマ展示として「安房の捕鯨」「万祝」を開催しました。

2 企画展

(1) 新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」

◆期 間 令和4年4月16日（土）～6月5日（日） 開館45日

◆会 場 本館企画展示室

◆概 要 前年度に加わった新たな収蔵資料30件2,800点以上の資料のなかからその一部を、「ちょっと昔の暮らし」「懐かしの商店」「交通と観光」「戦争の足跡」「地域の歴史」「ゆかりの人物」「八犬伝」の7コーナーに分けて紹介しました。昔の生活用具や以前に市内で営業していた商店の道具などを展示しました。展示資料数131点。

◆関連事業 解説動画（市公式YouTubeチャンネルにて公開）

◆展示担当者 山村恭子（主任学芸員）



(2) 収蔵資料展「里見家断絶とその後の安房の人々—里見忠義没後400年」

◆期 間 令和4年6月16日（日）～9月19日（月・祝） 開館79日

◆会 場 本館企画展示室

◆概 要 里見忠義没後400年に関連して開催しました。準備室開設以来40年にわたり、市民の方々などからの寄贈などによって収集された里見氏関連資料のなかから選りすぐり、里見家の断絶後、安房の人々が里見氏に対して、現代に至るまでどのような思いを抱いてきたのかをたどりました。あわせて、平成28年から房日新聞に連載された里見氏歴史小説「秋の幻」などの挿絵を用いて、里見忠義の生涯を解説するとともに、昭和初期の里見史研究者大野太平の事績も紹介しました。初日の6/19は400年前に里見家最後の当主里見忠義が没した日、最終日9/19は忠義に殉死した家臣たちの命日にあたります。展示資料数313点。

◆印刷物 ポスター・解説シート

◆関連事業 ①展示解説会6/19（日）・7/30（土）・9/19（祝・月）全3回・参加人数計62人

②解説動画（市公式YouTubeチャンネルにて公開）

◆展示担当者 岡田晃司（主任学芸員）



(3)新・地区展「館山一城と湊のまち」

◆期 間 令和4年10月29日(土)～12月25日(日)

◆会 場 本館企画展示室

◆概 要 市内10地区の歴史と文化財を紹介する「新・地区展シリーズ」の第10回(最終回)として、館山地区を取り上げました。館山地区は現在、館山・上真倉・下真倉・沼・宮城・笠名・大賀・富士見の8つの大字に分かれています。館山湾南岸に位置し、南部の丘陵との間に集落が展開しています。沼や上真倉に縄文時代以降の遺跡があり、古くから人々が暮らしていたことが分かります。天正18年(1590)には里見義康が館山城を居城とし、周辺の城下町整備を進めました。里見家が国替えとなり、城が破却された後も、館山町は周辺の町場として、あるいは江戸東京への物資流通の拠点として機能し、現在に至っています。また、館山藩稲葉家の時代には、城山の南東に陣屋が置かれ、明治になると旧藩士たちが町づくりを支えていきました。



古くから海上交通で栄えた当地区は、明治期に東京との間に汽船が開通したことにより、さらにその性格を強くしました。また昭和になると、東京湾要塞の一翼を担うため、宮城・笠名・大賀を中心に、洲ノ埼海軍航空隊などの軍事施設が設置されました。このように、城と湊と共に歩んできた館山地区の歴史を7つのパートに分けて紹介しました。展示資料数135点。

◆印刷物 ポスター・図録(カラー12頁)

◆関連事業 ①展示解説会 11/5(土)・12/10(土) 全2回・参加人数45人

②解説動画(市公式YouTubeチャンネルにて公開)

②第41回「わたしの町の歴史探訪—上真倉・下真倉—」11/20(日)

◆展示担当者 宮坂新(学芸係長)

(4)企画展「供養する人々」

◆期 間 令和5年2月4日(土)～3月21日(火・祝) 開館46日

◆会 場 本館企画展示室

◆概 要 これまで地域で取り上げられることのなかった「供養する人々」に焦点をあて、葬式、盆行事、年忌供養など、死者を弔うために人々が行ってきた供養に関わる資料をご紹介します。供養に関する行事や風習についての文書、写真、使用した道具は残りにくいため、展示した資料は房州の供養を語る一部に過ぎないも

の、本展覧会が地域の歴史を再発見するきっかけになることを目指して開催しました。開催時はテーマについて驚きの声もありましたが、実は興味があると話す人も多くいたことや、展示を見ながら昔のお葬式や今行っているお盆の行事について見学者の会話が盛り上がっていたのが印象的でした。展示資料数136点。

◆印刷物 ポスター・しおり・図録（カラー44頁）

◆関連事業

①展示解説会 2/18（土）・3/12（日）参加人数 46人

②解説動画（市公式YouTubeチャンネルにて公開）

◆展示担当者 山村恭子（主任学芸員）



展示解説会

3 その他

(1)パネル展「絵図士が知っている館山の見どころ文化財マップ展」

◆期 間 通年

◆会 場 本館休憩室

◆概 要 当館の市民ボランティアであるミュージアムサポーター「絵図士」が、過去に作成した文化財マップを写真で紹介するパネル展示を、令和元年度より実施しています。3か月ごとにテーマを変え、「絵図士」が現地を再調査のうえ、パネル作成・展示作業を行いました。本年度は「正木諏訪神社」「那古寺」「鷹ノ島弁財天」「崖観音と諏訪神社」を紹介しました。

IV 教育・普及活動

1 印刷物の発行

(1) 館報「ミュージアム発見伝」第97号

◆刊行時期 令和5年3月25日

◆部数 1,500部

◆概要 令和4年度に開催した展覧会の概要紹介、企画展の調査成果、収蔵資料の紹介などの記事を掲載しました。

(2) 『館山市立博物館年報』（令和3年度版）

◆刊行時期 令和4年9月30日（市HP上にPDFにて公開）

◆概要 令和3年度の利用状況・事業内容等を報告しました。

(3) 文化財マップ

① 「里見家の女性」

◆刊行時期 令和4年7月

◆概要 安房郡内に分布する里見家ゆかりの女性の墓碑や伝承地について、博物館ミュージアムサポーター「絵図士」5名（青木悦子、金久ひろみ、佐藤博秋、佐藤靖子、殿岡崇浩）が調査し、文化財マップを作製しました。

② 「相浜神社の文化財」

◆刊行時期 令和5年3月

◆概要 富崎地区の相浜神社境内に所在する文化財について、博物館ミュージアムサポーター「絵図士」5名（刑部昭一、鈴木正、殿岡崇浩、中屋勝義、山杉博子）が調査し、文化財マップを作製しました。

③ 「西長田観音院の文化財」

◆刊行時期 令和5年3月

◆概要 豊房地区西長田の観音院境内に所在する文化財について、博物館ミュージアムサポーター「絵図士」5名（青木悦子、金久ひろみ、佐藤博秋、佐藤靖子、鈴木以久枝）が調査し、文化財マップを作製しました。

2 講座・教室

今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、人数制限や受講者の間隔を広くとるなど対策をとりながら実施しました。

(1) 歴史教室「古文書を読んでみよう」

◆開催日 令和4年6月～令和5年1月 各月第3火曜日（午前・午後）および第3土曜日（午前・午後）実施。

全4クラス各8回

◆場所 本館集会室

◆講師 宮坂新（学芸係長）

◆概要 安房地域で作成された江戸時代の古文書をテキストとして、くずし字の読み方と地域の歴史を学ぶ初心者向けの講座です。感染防止のため各クラスの定員を従来の半数とし、4クラスを開講しました。

◆参加人数 火曜午前クラス28人・火曜午後クラス29人・土曜午前クラス28人・土曜午後クラス29人

(2) 歴史教室「活弁八犬伝」

- ◆開催日 ①令和4年8月27日(土)「里見家VS管領軍(前編)」
②令和4年10月29日(土)「里見家VS管領軍(後編)」

◆場 所 本館集会室

◆講 師 大古幸枝(生涯学習課)

◆概 要 長大な南総里見八犬伝のストーリーを、錦絵やイラストをスクリーンに写しながら活弁スタイルでお話しする講座です。今年度は、八犬士たちが活躍し、管領軍を次々と打ち負かしていくクライマックスの場面を前編・後編にわけて紹介しました。本講座は平成27年度から開始し、今年度をもって完結しました。全14回。

◆参加人数 25人



(3) なつやすみ宿題大作戦～調べよう！たてやまのこと～(館山市図書館との共同開催)

- ◆開催日 ①令和4年7月26日(火)、②7月27日(水)



◆場 所 ①館山市図書館、②本館集会室

◆講 師 山村恭子(主任学芸員)、相川映妃(図書館司書)

◆概 要 平成28年度から実施している地域学習の宿題に困る小学生を図書館司書と博物館学芸員が連携してサポートする講座です。図書館編では、本を使った調べ方や、館内を探検しながら、調べたいことが載っている本の探し方を学び、博物館編では黒曜石が刺さったイルカの骨の写真や昔の道具を観察し、資料の調べ方を学びました。

◆参加人数 12人

(4) 歴史教室「わたしの町の歴史探訪」第41回 上真倉・下真倉

◆開催日 令和4年11月20日(日)

◆場 所 館山地区 上真倉・下真倉

◆講 師 宮坂新(学芸係長)

◆概 要 41回目となる今回は、新・地区展「館山一城と湊のまち」の関連事業として、市内上真倉・下真倉で実施しました。当日はあいにく小雨の降る天気でしたが、学芸員が作製したイラストマップを片手に、下真倉の鎮守である日枝神社や上真倉(青柳)の法蓮寺・長泉寺、上真倉(戸倉)の長光寺・地藏堂のほか、道路脇の馬頭観音・牛頭観音などを歩いて巡りました。

◆参加人数 22人



地藏堂(上真倉)の見学

(5)分館収蔵資料解説会

◆開催日 ①令和4年6月26日(日)、②10月22日(土)

◆場所 分館収蔵展示室

◆解説者 山村恭子(主任学芸員)

◆概要 館山市立博物館分館(渚の博物館)の第一収蔵庫(収蔵展示室)を特別公開し、今ではほとんど見ることができない和船の造船技術で作られた木造漁船や船を作った船大工の使用した道具などを紹介しました。

◆参加人数 21人



3 動画の公開

①令和4年度新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」解説

◆掲載時期 令和4年5月

◆概要 新収蔵資料展の概要と見どころを担当学芸員が解説しています。約5分。

②収蔵資料展「里見家断絶とその後の安房の人々」予告編

◆掲載時期 令和4年6月

◆概要 収蔵資料展の予告用に概要を紹介しました。約1分。

③収蔵資料展「里見家断絶とその後の安房の人々」解説

◆掲載時期 令和4年8月

◆概要 収蔵資料展の概要と見どころを担当学芸員が解説しています。約19分。

④新・地区展「館山一城と湊のまち」館山地区ってどんな地区？

◆掲載時期 令和4年11月

◆概要 新・地区展「館山一城と湊のまち」の概要と見どころを担当学芸員が解説しています。約5分。

⑤企画展「供養する人々」変わりゆく房州の供養

◆掲載時期 令和5年3月

◆概要 企画展「供養する人々」の概要と見どころを担当学芸員が解説しています。約9分。

4 博物館実習

◆期間 令和4年9月14日(水)～9月22日(木) うち6日間

◆人数 1人(桜美林大学)

◆概要 学芸員資格の取得を目指す学生が、資料の取扱い実習、寄付資料の整理作業、本館・分館の展示替え作業、ワークシート作成など博物館の多様な業務を体験しました。今年度は、実習生が「岩崎巴人 水墨画の世界」の展示替えを担当し、テーマの決定から資料の選定、キャプションの作成、展示作業と展示に関する一連の作業を学芸員の指導のもと行いました。



V 調査・研究活動

1 学芸員の活動

(1) 宮坂新（学芸係長）

◆担当事業

【展 示】館山城常設展管理（指定管理者自主事業の監修を含む）、新・地区展「館山一城と湊のまち」

【教育普及】歴史教室「古文書を読んでみよう」、歴史教室「わたしの町の歴史探訪」、広報「お茶の間博物館」
分担執筆

【資料管理】寄付資料受入、借用・寄託資料の更新手続き

【調査研究】新・地区展「館山」に係る資料調査

◆講師派遣等

・令和5年2月24日 生涯学習出前講座（館野地区公民館）講師「歴史探訪ウォーキング in 館野（山本）」

◆原稿執筆

・「新型コロナ禍における館山市立博物館の取り組み」（千葉県博物館協会研究紀要『MUSEUM ちば』第47号、令和4年4月）

・「近世後期館山湾における漁業争論と領主支配—安政期出し網一件を事例として—」（『千葉史学』第80号、令和4年5月）

・「（書評）大石学監修・東京学芸大学近世史研究会編『江戸周辺の社会史—江戸町続論のこころみ—』（『関東近世史研究』第90号、令和4年6月）

・「学芸員の実践から地域博物館の役割と研究を考える—特集「地域博物館と関東近世史研究」書評—」（『関東近世史研究』第91号、令和4年8月）

・展示図録『新・地区展 vol. 10 館山一城と湊のまち』（館山市立博物館、令和4年10月）

・「（史料紹介）館山神社所蔵「阿波屋弁財天像由緒書」（『館山と文化財』第56号、館山市文化財保護協会、令和5年3月）

(2) 山村恭子（主任学芸員）

◆担当事業

【展 示】分館常設展管理、新収蔵資料展、企画展「供養する人々」

【教育普及】歴史教室「活弁八犬伝」、なつやすみ宿題大作戦、分館収蔵資料解説会、広報「お茶の間博物館」
分担執筆

【資料管理】寄付資料受入、資料・図書購入、分館収蔵庫管理

【調査研究】大正時代以降の安房地域における葬送儀礼、安房地域の盆行事

【その他】博物館実習、千葉県博物館協会（安房ブロック中核館）

◆講師派遣等

・令和4年6月10日 生涯学習出前講座（市立九重小学校）講師「地区の歴史を知りたい」

・同 7月15日 生涯学習出前講座（市立九重小学校）講師「地区の歴史を知りたい」

・同 8月4日 安房学講座「安房の葬送儀礼と盆行事」

・同 10月21日 中央公民館ふるさと講座「房州の地蔵めぐり」

- ・同 11月16日 生涯学習出前講座（船形地区公民館）「館山市の戦争遺跡」（講義）
- ・同 11月30日 生涯学習出前講座（船形地区公民館）講師「館山市の戦争遺跡」（現地学習）

◆原稿執筆

- ・『『八犬伝』人気の広がり』（演劇集団円 公演『ソハ、福ノ倚ルトコロ』パンフレット、吉祥寺シアター、令和4年10月）
- ・企画展図録『供養する人々』（館山市立博物館、令和5年2月）
- ・「やんごめくいくいー安房の迎え火・送り火ー」（『館山と文化財』第56号、館山市文化財保護協会、令和5年3月）

◆研修

- ・令和4年7月4日～8日 令和4年度博物館・美術館等保存担当学芸員研修（上級コース）（東京文化財研究所）

◆その他

- ・白間津の大祭記録作成実行委員会（南房総市教育委員会）〔中止〕

(3)岡田晃司（主任学芸員）

◆担当事業

- 【展 示】本館常設展管理、収蔵資料展「里見家断絶とその後の安房の人々」
- 【教育普及】絵図士（文化財マップ・展示）、広報「お茶の間博物館」分担執筆、館報「ミュージアム発見伝」編集
- 【資料管理】寄付資料受入、本館収蔵庫管理
- 【調査研究】里見氏を中心とする安房地域史研究
- 【その他】年報編集

◆講師派遣等

- ・令和4年4月26日 千葉県生涯大学校南房学園講師「地域の文化歴史を知る 房総里見氏・小説と史実」
- ・同 6月10日 生涯学習出前講座（市立九重小学校）講師「九重地区の歴史」
- ・同 6月26日 房総の魅力を発信する実行員会イベント司会「安房の魅力とさかなクン」
- ・同 7月6日 千葉県生涯大学校南房学園講師「地域の文化歴史を知る 房総里見氏・稲村城跡と館山城跡」
- ・同 7月15日 生涯学習出前講座（市立九重小学校）講師「九重地区の歴史」
- ・同 7月31日 生涯学習出前講座（館山市手話サークル）講師「里見家断絶400年」
- ・同 9月15日 館山市中央公民館ふるさと講座講師「鎌倉殿と安房国」
- ・同 10月3日 生涯学習出前講座（県立安房特別支援学校聾学校）講師「甲冑を着よう」
- ・同 10月11日 全国総社会講師「安房国総社鶴谷八幡宮の歴史と祭礼」
- ・同 10月14日 福原コーポレーション管理職研修講師「資生堂と館山の福原家」
- ・同 10月26日 千葉県生涯大学校南房学園講師「地域の文化歴史を知る 房総里見氏及び史跡めぐり」
- ・同 11月22日 生涯学習出前講座（地区公民館巡回研修）講師「鎌倉殿と安房国」
- ・同 11月25日 館山市中央公民館サークル連絡会視察研修会講師「洲崎探訪」
- ・令和5年1月18日 県立茂原高校地理歴史科リモート授業「里見内蔵丞吉政由緒書について」
- ・同 1月19日 木更津市富来田公民館講座講師「鎌倉殿と安房国」
- ・同 1月22日 生涯学習出前講座（館山市手話サークル）講師「赤山地下壕について」

- ・同 2月11日 生涯学習出前講座（畑ヶ中新老人クラブ）講師「神余の学び舎」
- ・同 2月14日 千葉県生涯大学校南房学園講師「地域の伝統工芸技術について学ぶ 名工、後藤義光・武志伊八郎及び史跡めぐり」
- ・同 3月12日 生涯学習出前講座（房総里見会）講師「戦国武将房総里見氏と南総里見八犬伝」
- ・同 3月14日 生涯学習出前講座（大戸やまゆりの会）講師「畑区の歴史」

◆原稿執筆

- ・『図説戦国里見氏』「館山の城下町整備と、家臣団を近世的組織へと整備する」等5項目（戎光祥出版株式会社、令和4年7月）
- ・「金沢文庫旧蔵本医薬書を伝えた安房上野氏について」（『里見氏研究』第2号、里見氏研究会、令和5年3月）
- ・「里見氏の古文書探訪 第2回 里見義継黒印状」（『里見氏研究』第2号、里見氏研究会、令和5年3月）

◆その他

- ・千葉県文書館古文書調査員委嘱（令和4年4月～令和5年3月）

VI 資料の収集・保存

1 新規収蔵資料

令和4年度の新規収蔵資料点数は以下のとおりです。

	寄付	購入	移管	採集	受託	合計
点数	1,603	34	41	0	1	1,679

・受託資料のうち更新分は含まない。

(1) 寄付資料

寄贈者（敬称略）	資料名	数量
川名俊明	館山市 暗箱カメラ、ミノルタオートコード	2
井原重之	佐倉市 打刀拵	1
岡崎俊明	南房総市 里見義康印判状	1
波々壁壽	南房総市 岩崎巴人画「桜桃園」他	3
嶋田美智子	館山市 嶋田家文書、五月節句幟 他	254
小藤田顕也	鋸南町 ワードプロセッサ、フロッピーディスク	10
金沢睦子	南房総市 安房神社「浦安の舞」写真 他	3
福島宜慶	東京都 日の出クレンザーパッケージ見本	1
三幣忠男	南房総市 三幣家典籍	4
小濱隆平	館山市 犁、鋤、鎌	5
愛沢伸雄	館山市 里見ウォーキングスタンプラリー用スタンプ	8
篠塚和則	館山市 関東大震災倒潰家屋再建棟札	1
醍醐道子	東京都 醍醐敏郎氏関係資料（柔道着・トロフィー他）	110
飯田順一郎	東京都 飯田家文書、書画	272
加藤和代	館山市 山田家所蔵資料（手ぬぐい・書画・絵はがき他）	196
佐藤恵重	鴨川市 国鉄内房線乗車券 他	44
山本光正	千葉市 JR東日本千葉支社ポケット時刻表 他	38
小出一彦	南房総市 短刀（安房国瀬戸住波々壁正智作）	1
石井泉	館山市 館山小学校学籍簿	1
内川博	館山市 船模型、写真 他	16
小澤忠雄	南房総市 絵はがき	41
平嶋義久	館山市 平嶋家文書、稽古用木製薙刀 他	1件
山田郁	館山市 田中家文書、万里小路通房書額 他	3件
前田裕子	館山市 「房州旅行案内 千葉県安房国全図」	1
代田健一	南房総市 生稲家文書、棟札 他	101
白井雅子	茂原市 岩崎巴人画「清閑」 他	5

広瀬孝治	館山市	数珠	1
牛米努	東京都	鏡ヶ浦鉱泉旅館渚の家チラシ	1
村田光夫	館山市	中里区有文書（追加分）、有線放送電話機	17
小宮寿夫	南房総市	小幡重一『響』	1
長井晃弘	館山市	戦没者写真、ガラス乾板 他	10
菊間嘉則	鋸南町	船釘、生簀カッパー 他	30
安部圭子	館山市	亀入家文書、出征者たすき 他	90
館野地区公民館	館山市	古文書	7

一部を除く。

(2) 購入資料

資料名	数量	資料名	数量
絵はがき「(安房名所) 和田町和田海岸 海草水揚場」	1	『社会史研究・日本震災史』	1
手札写真「安房延命寺」	1	『科学知識 震災号』	1
絵はがき「房州鋸山ノ石切場」	1	『関東大震災画報』	1
里見義継印判状	1	『関東大震大火写真帖』	
絵はがき「安房那古山六景 那古山全 景」	1	『大正大震災誌』	1
錦絵「犬村角太郎」	1	『歴史写真 関東大震大火記念号』	2
東京湾要塞地帯図	2	『震災情報』	1
野島崎至御前埼海図	1	『関東震災画報』	3
鱸利彦書簡	1	『大正震災志』（上下巻、付図、写真帖）	4
『東京大地震史』	1	曲亭馬琴『皿皿郷談』	8

(3) 移管資料

資料名	数量	旧保管者
海図 他	23	市総務部管財契約課
河合真志「花」（絵画）	1	市総合政策部秘書広報課
館山音頭レコード 他	3	市総務部管財契約課
本立て（北条町役場焼印）	1	市会計局
磁石式電話機	1	市総務部管財契約課
櫻田精一「モンテカルロ」他絵画、写真	12	市総合政策部秘書広報課

(4) 受託資料（新規のみ）

寄託者（敬称略）	資料名	数量
那古寺 館山市	繡字法華経普門品（県指定文化財）	1

Ⅶ 施設運営・維持管理

1 指定管理者との協働

一部業務について、指定管理者による博物館運営を実施しました。

(1) 指定管理者

株式会社塚原緑地研究所 代表取締役 塚原道夫

(2) 期間

令和元年12月1日から令和6年11月30日まで（延長条件により更に5年間の期間延長可）

(3) 業務

① 本館

受付案内業務

② 館山城（八犬伝博物館）

受付案内業務、施設運營業務、維持管理業務の一部

③ 分館（“渚の駅” たてやま内 渚の博物館）

受付案内業務

④ 令和4年度自主事業

- ・ 博物館グッズの企画製作、販売
- ・ 入館者受付におけるキャッシュレスシステム運営
- ・ 正月3が日の館山城臨時開館
- ・ 館山城開館40周年記念式典、フェスティバル
- ・ 企画展示「館山城写真展」
- ・ 企画展示「目で楽しむ南総里見八犬伝」
- ・ 企画展示「南総里見八犬伝浮世絵展 ―浮世絵でめぐる名場面―」
- ・ 謎解きゲーム「復刻！館山城を救え！」（館山城・城山公園内）

2 館内における新型コロナウイルス感染症防止対策

(1) 継続実施

令和3年度に引き続き、下記の対策を継続して実施しました。

- ① 密を避ける注意喚起を受付前フロア・展示室入口に表示
- ② 集会室での講座等において1人掛机を使用
- ③ デジタルサイネージによる情報案内と注意喚起
- ④ 飛沫感染防止のため受付にアクリルボードを設置
- ⑤ 展示室ケース等の消毒
- ⑥ 入館者用手指消毒液の設置

(2) 新規事業

(国) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、博物館本館および館山城（八犬伝博物館）の施設内における感染予防対策として、下記の機器を導入しました。

- ① 顔認証型検温機 2台（本館1台・館山城1台）
- ② 空気清浄機 12台（本館9台・館山城3台）



3 主な施設改修

文化庁補助事業 分館（渚の博物館）収蔵庫消防設備改修

（工事担当課：館山市経済観光部観光みなと課）

Ⅷ 例規

○館山市立博物館設置条例

昭和57年6月26日条例第15号

最終改正 令和5年3月23日条例第5号

(設置及び目的)

第1条 本市は、博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）に基づき、市の歴史、芸術、民俗、産業等に関する資料を収集し、保管し、及び展示して一般公衆の利用に供するとともに、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究を行うため博物館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
館山市立博物館	館山市館山351番地の2
館山市立博物館分館	館山市館山1564番地の1

(所管)

第3条 博物館は、館山市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の所管に属する。

(事業)

第4条 博物館は、法第3条第1項の定めるところにしたがいおおむね次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 実物、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム等の博物館資料を豊富に収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行い、報告書等を公刊すること。
- (3) 博物館資料に関する講演会、研究会等を開催すること。

(職員)

第5条 博物館に館長及び学芸員のほか必要な職員を置く。

2 前項の館長は、非常勤とすることができる。

(観覧料)

第6条 博物館の観覧料は、次のとおりとする。

区分	観覧料（1人につき）			
	個人		団体（20人以上）	
	市内	市外	市内	市外
小学生・中学生・高校生	100円	200円	80円	150円
一般	200円	400円	150円	300円

2 前項の規定にかかわらず、特別展を開催している期間においては、博物館の観覧料は、次のとおりとする。

区分	観覧料（1人につき）			
	個人		団体（20人以上）	
	市内	市外	市内	市外
小学生・中学生・高校生	150円	300円	100円	250円
一般	250円	500円	200円	400円

(観覧料の減免)

第7条 市長は、公益上その他必要と認めるときは、観覧料を減免することができる。

(既納観覧料の還付)

第8条 既納の観覧料は、これを還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めたときは、還付することができる。

(博物館協議会)

第9条 博物館に館山市立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員（以下「委員」という。）は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が任命する。

3 委員の定数は、7人以内とする。

4 委員の任期は2年とし、欠員が生じた場合の補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(指定管理者による管理)

第10条 教育委員会は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その

他の団体であって教育委員会が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に博物館の管理を行わせることができる。

（指定管理者が行う業務）

第11条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 博物館の運営に関する業務
- (2) 博物館の維持管理に関する業務
- (3) 博物館の観覧に係る料金（以下「利用料金」という。）の徴収等に関する業務
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める業務

（利用料金）

第12条 指定管理者が徴収する利用料金は、第6条の表に掲げる額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定めるものとする。

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、同項の規定により利用料金を定めることが適当でないと認める場合には、あらかじめ市長の承認を得て、利用料金を定めることができる。

3 市長は、指定管理者に利用料金を当該指定管理者の収入として収受させることができる。

（指定管理者が行う管理の基準）

第13条 指定管理者が行う管理の基準については、この条例及び館山市指定管理者の指定手続等に関する条例（平成18年条例第42号）に定めるもののほか、教育委員会が別に定める。

（読替え）

第14条 第10条の規定により指定管理者に博物館の管理を行わせた場合における第7条、第8条及び附則第2項の規定の適用については、第7条の見出し中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、同条中「市長は、公益上その他必要と認めるときは、観覧料」とあるのは「指定管理者は、公益上その他必要と認めるときは、市長の承認を得て、利用料金」と、第8条の見出し中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、同条中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、「市長が特別の理由があると認めるときは」とあるのは「指定管理者は、特別の理由があると認めると

きは、市長の承認を得て」と、附則第2項（見出しを含む。）中「観覧料」とあるのは「利用料金」とする。

（委任）

第15条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、昭和57年10月1日から施行する。
（観覧料に関する特例）
- 2 当分の間、館山市立博物館分館の常設展の観覧料については、無料とする。

※以下省略

○館山市立博物館管理規則

昭和57年9月23日教育委員会規則第8号

最終改正 平成31年3月22日教委規則第4号

（趣旨）

第1条 この規則は、館山市立博物館設置条例（昭和57年条例第15号。以下「条例」という。）に基づき館山市立博物館（以下「博物館」という。）の管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第2条 博物館の開館時間は、午前9時から午後4時45分までとする。ただし、入館することができる時間は、午前9時から午後4時30分までとする。

2 館山市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、特に必要があると認めるときは、前項の開館時間を変更することができる。

（休館日）

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 毎週月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たるときは、その翌日）
 - (2) 12月29日から翌年の1月3日までの日
- 2 教育委員会は、特に必要があると認めるときは、前項の休館日を変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

(観覧の手続)

第4条 博物館に入館し観覧しようとする者(以下「観覧者」という。)は、条例第6条に規定する観覧料を納付し、観覧券の交付を受けなければならない。

(観覧料の免除)

第5条 条例第7条の規定により、観覧料を免除することのできる場合は、次のとおりとする。

- (1) 市内に住所を有する65歳以上の者が観覧するとき。
- (2) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)で定める身体障害者及びその介護者が観覧するとき。
- (3) 知的障害者福祉法(昭和35年法律第37号)にいう知的障害者及びその介護者が観覧するとき。
- (4) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)で定める精神障害者及びその介護者が観覧するとき。
- (5) 市内に所在する老人ホーム、福祉作業所その他の福祉施設の入所者及びその施設の職員が、当該施設の行事として観覧するとき。
- (6) 市内の保育園、幼稚園、こども園、小学校、中学校及び高等学校の園児、児童及び生徒並びにその引率者及び保護者が、当該学校等の行事として観覧するとき。
- (7) 前各号に定めるもののほか教育委員会が公益上必要と認めるとき。

2 観覧料の免除を受けようとする者は、前項第1号から第4号までに規定する場合を除き、あらかじめ教育委員会に観覧料の免除の申請をしなければならない。

3 教育委員会は、観覧料を免除したときは、観覧券を交付するものとする。

(入館の制限)

第6条 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対して入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 所定の観覧券を所持しない者
- (2) 指導者、保護者又は付添人のない6歳に満たない者

(3) 泥酔者その他観覧者に不快の感を与えると認められる者

(4) その他管理上支障があると認められる者(禁止行為)

第7条 観覧者は、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 博物館資料をき損し、又は汚損すること。
- (2) 許可なく博物館資料を模写し、又は撮影すること。
- (3) 所定の場所以外で喫煙又は飲食すること。
- (4) その他、他の観覧者の妨げになる行為をすること。

(損害賠償)

第8条 観覧者は、博物館資料、建物若しくは備品等を損傷し、又は滅失した場合には、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

(読替え)

第9条 指定管理者(条例第10条に規定する指定管理者をいう。)に条例第11条に規定する業務を行わせる場合における第2条第2項、第3条第2項、第4条、第5条及び第6条の規定の適用については、第2条第2項中「館山市教育委員会(以下、「教育委員会」という。))は、特に必要があると認める」とあるのは「指定管理者が、特に必要があると認め、教育委員会の承認を得た」と、第3条第2項中「教育委員会は、特に必要があると認める」とあるのは「指定管理者が、特に必要があると認め、教育委員会の承認を得た」と、第4条中「第6条」とあるのは「第12条」と、「観覧料」とあるのは「利用料金」と、第5条の見出し中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、同条第1項中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、同項第7号中「教育委員会が公益上必要と認める」とあるのは「指定管理者が公益上必要と認め、市長の承認を得た」と、同条第2項中「観覧料」とあるのは「利用料金」と、「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と、同条第3項中「教育委員会は」とあるのは「指定管理者は、市長の承認を得て」と、「観覧料」とあるのは「利用料金」と、第6条中「館長」とあるのは「指定管理者」とする。

(委任)

第10条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理及び運営に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、昭和57年10月31日から施行する。

※以下省略

○館山市立博物館協議会運営規則

昭和59年4月24日教育委員会規則第5号

改正 平成17年8月19日教委規則第11号

(趣旨)

第1条 この規則は、館山市立博物館設置条例(昭和57年条例第15号)第10条の規定により館山市立博物館協議会(以下「協議会」という。)の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に会長及び副会長各1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長及び副会長の任期は、2年とする。

4 会長は、協議会を代表し、議事その他の会務を総理する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、必要がある場合において、会長が招集する。

第4条 会議は、委員の2分の1以上の出席がなければ開くことはできない。

2 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(関係職員の出席)

第5条 関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。

(庶務)

第6条 会議に関する庶務は、館山市立博物館において処理する。

(委任)

第7条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和59年4月1日から適用する。

附 則(平成17年8月19日教委規則第11号)

この規則は、公布の日から施行する。

館山市立博物館年報

令和4年度版

発行日 令和5年9月30日

編集・発行 館山市立博物館

〒294-0036 千葉県館山市館山 351-2

TEL 0470-23-5212 FAX 0470-23-5213